

地域防災データシート* No.2

避難所の一人当たりの面積

昭和61年(1986年)11月の伊豆大島噴火により、約1万人の住民は島外に避難し、都内に開設された避難所に収容された(52ヶ所、8408名)。

都内の各避難所の1人当たりの居室部分(大部屋の場合、通路を含む)の面積をみると、1.60~27.36㎡で、区別平均では2.84~5.60㎡となっており、東京都地域防災計画で定めている避難所設置基準(3.3㎡あたり2人)と比べややゆとりがある。1部屋別の面積からみると、港区スポーツセンターや江東区スポーツ会館のように1部屋あたりに500人以上の人々を収容したところから、江戸川区のいこいの家のように敬老会館や婦人会館の個室を利用したもので、大きさまで異なる。一般に、大部屋の場合、プライバシー等の点で問題が生じやすいと考えられる。

区別に避難所の1人当たりの面積を例示すると次のとおりである。

表5.3.6 1人当たりの避難所の面積 (単位 ㎡)

開設区	施設数	1人当たりの面積			収容人員 (最大)	1部屋当たりの最大収容者数	
		最小	最大	平均			
千代田区	4	1.60~19.00	5.60	593人	大競技場	340人	
中央区	23	3.32~14.34	4.98	1,939人	総合体育館	823人	
港区	5	2.63~4.50	2.84	2,405人	第一競技場	570人	
江東区	1	2.82~7.00	3.08	1,074人	大体育室	560人	
新宿区	6	4.10~6.29	4.80	664人	総合体育館	664人	
文京区	1	3.75~4.39	3.79	210人	トレーニング室	210人	
品川区	11	3.10~5.49	4.32	637人	国際救援センター	321人	
江戸川区	2	3.44~6.04	4.12	99人	いこいの家	73人	
北区	1	2.78~27.36	4.78	214人	防災センター研修室	65人	
大田区	3	3.12~4.48	3.61	654人	区民センター	362人	



写真5.3.2 避難直後の避難所内の状況(港区スポーツセンター1986年11月22日)
東京都情報連絡室提供

——地域防災データ総覧—地域避難編—(消防科学総合センター)より——

* データシートの形態をとる情報は、コピーを取ったり、内容をコンピュータに入れてデータベースとして利用するようとき、きわめて便利である。